

地方整備局・国土地理院の出先機関の 課長・出張所長など管理職員の逆転解消を

国交大臣に要求書提出

《管理職員の給与及び諸手当等に関する基本 요구書》

1. 賃金等に関する要求
2. 諸手当に関する要求
3. 人事評価制度に関する要求
4. 定年延長をはじめとする高齢期雇用に関する要求
5. 健康と働きやすさを確保する職場環境の整備に関する要求
6. 業務執行体制とその拡充に関する要求
7. 業務改善に関する要求
8. 若手職員の定着・育成に関する要求
9. テックフォースに関する要求
10. パワーハラスメントの防止に関する要求
11. 障がい者雇用に関する要求
12. 国土交通省社会人経験者採用に関する要求

《管理職員の給与及び諸手当等に関する基本 요구書》

1. 慢性的な人員不足の解消と執行体制の再構築
2. 業務量の抜本的削減とマネジメント機能の回復
3. 災害対応における公平な処遇の確立
4. 若手職員の離職防止と確実な技術伝承
5. 納得感ある賃金体系と定年延長制度の改善

2026年 4月24日

国土交通大臣
金子 恭之 様

国土交通省管理職ユニオン
執行委員長 大枝 千香

持続可能な行政体制の構築と処遇改善に関する要求書

当ユニオンが実施した「第14回管理職等アンケート」の結果、現場は個人の努力や使命感で
はもはや補いきれない「限界域」に達していることが明らかとなりました。人員配置が「十分でない」と
回答した管理職は77%に達し、現場の第一声は常に「人が足りない」という悲鳴です。10年後も
機能する組織を維持するため、以下の最優先課題について誠実な回答と抜本的な改善を強く要
求します。

記

1. 慢性的な人員不足の解消と執行体制の再構築
① 「補正予算依存の緊縮構造」からの脱却
「国土強靱化」等の補正予算が常態化する中、人員不足により現場は疲弊を極めてい
ます。予算規模に見合った恒常的な人員増を確保するとともに、業務計画の抜本的な見
直しを行うこと。
② 欠員の即時解消
特に現場の中核となる係長層の欠員が目立ち、不健全な「併任(兼務)」が常態化してい
ます。適正な人員配置を最優先で行うこと。
2. 業務量の抜本的削減とマネジメント機能の回復
① 「現場を縛る文書・手続き」の削減
管理職の4割超が「部下育成の時間が不足している」と回答しています。入札・発注
業務の簡素化、過度な説明資料や会議の削減を断行し、管理職が本来のマネジメント業
務に専念できる環境を整備すること。
② 実効性のあるDXの推進
デジタル化が進んでも「重複調査」や「上部機関への説明」が減っていない実態を直視
し、現場の負担軽減に直結するシステム改善を行うこと。
3. 災害対応における公平な処遇の確立
① TEO-FORCE 派遣等の超過勤務手当の支給
管理職が現場で隊員として働いている実態を認め、一般職員と同様の超過勤務手当を
支給すること、または専用の手当を新設すること。8割以上の管理職が、現行の管理職手
当のみでの対応を不合理としています。

4月24日国土交通省管理職ユニオンは、国
土交通大臣宛に『管理職員の給与及び諸手当
等に関する基本 요구書』『持続可能な行政体
制の構築と処遇改善に関する要求書』を提出
しました。要求書の中で特に『管理職員の逆
転現象の解消(本省管理職員は、昨年度手当改
善で約100万円増)』など強く要求しました。
また、国土地理院の地方測量部では、『5級
で退職している課長がいる実態』もあり、6級
枠増も含め改善を求めました。

① 管理職の「逆転現象」の解消

責任・業務量・リスクに対し、管理職の処遇が不十分であるため、若手が管理職を目
指さない構造になっています。俸給表や管理職手当を抜本的に改善し、職責に見合った
対価を保障すること。

国土交通省管理職ユニオン
中央本部 2026. 5月